

メインフレーム上のシステム資産を把握し、そのスリム化によりコスト削減を図る

メインフレーム資産棚卸ソリューション

メインフレームの保守開発コストの削減や、効果的なマイグレーションの実現に向けては資産棚卸による必要資産と不要資産の把握が必要かつ有効です。

長年使用してきたメインフレームには不要資産が数多く残っている可能性があります

- ・改修開発により不要となったが「念のため」削除せずにそのまま残っている資産
- ・テストや分析のため一時的にコピーして利用したがそのまま残っている資産
- ・システム分割時に二重管理になってそのまま残っている資産



これら不要資産の数だけ保守開発やマイグレーションのコストは増大します

- ・保守開発コストには「既存資産の規模」が大きく影響
- ・マイグレーション費用の見積りは不要かもしれない資産を含む移行資産全てが対象
- ・マイグレーション検討時に実際には使っていない機能を保証する為のコスト等も増大

弊社では、専用ツールと経験豊富なメインフレーム技術者の分析作業により、お客様メインフレーム上の必要資産と不要資産を洗い出し、そのスリム化のお手伝いをします。

▶▶▶ メインフレーム資産棚卸ソリューションの進め方



対象システム

- ▶ MVS, OS390, z/OS
- ▶ XSP/MSP
- ▶ VOS3

主な調査対象資産

- ▶ SYSLOG, SMF, VTOC
- ▶ JCL, PROC, SYSIN
- ▶ PGM, COPY
- ▶ DB/DC定義情報
- ▶ 画面定義体等

分析項目

- ▶ 重複調査
 - ▶ 親子関係調査
 - ▶ IMS, CICS等DB/DCミドルウェア, SQL使用プログラムの調査
 - ▶ IMS, CICS等DB/DCミドルウェアの使用ファンクション・コマンドの調査
 - ▶ 使用JCLユーティリティの調査
 - ▶ JOBの使用実績
 - ▶ JOB, JCL, PROC, PGM, COPYの照合
 - ▶ JCLとDATASETの照合
 - ▶ プログラムソースとロードモジュールの照合
- } 資産間の整合性確認

お問い合わせ先：ニッセイ情報テクノロジー株式会社 クラウドサービス事業部 ITソリューション営業ブロック

〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 TEL：03-5714-5029

ホストシステムのシステム資産に手を加えずに
オープンプラットフォームでの稼働を実現

富士通/日立の
国産機にも対応

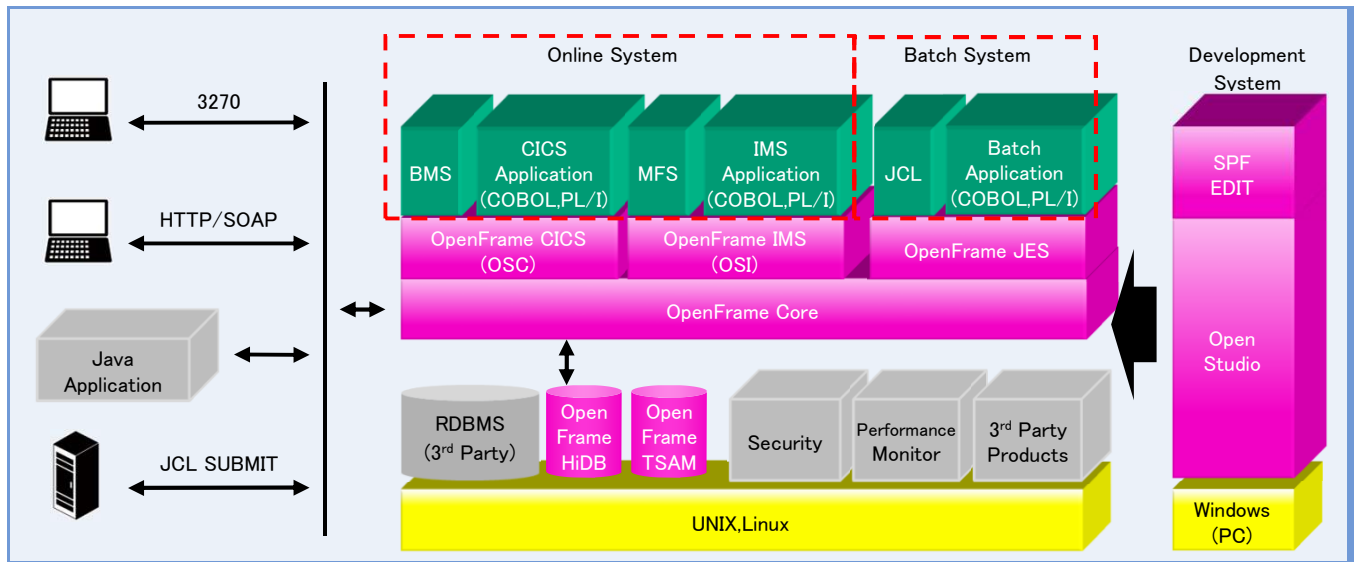
メインフレーム リホスティングソリューション

ホストで稼働しているプログラム、実行JCLやデータなどのシステム資源をそのままオープン環境への移行が可能な、日本ディーマックスソフト社の「OpenFrame」リホスティングソリューションをご提供します。オープン環境へ移行することで、将来のシステム拡張の可能性も広がります。

<システム構成>

オープン環境へ移行後のシステム構成図（赤点線部分がホストから移行したシステム群）

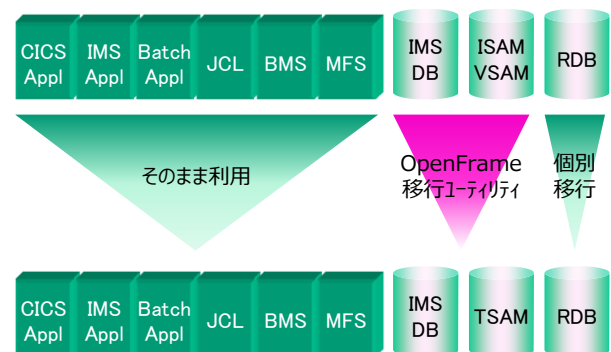
TmaxSoft



メインフレームからオープン環境への移行(IBMの場合)

	メインフレーム	OpenFrame
OS	MVS, OS390, z/OS	UNIX, Linux
DB	DB2 IMS-DB	Oracle, UDB, Tiberio 他 OpenFrame(HDB)
DC	CICS, IMS	OpenFrame(CICS, IMS)
言語1	COBOL II Enterprise COBOL	Micro Focus Net Express Micro Focus Server Express Micro Focus Visual COBOL
言語2	PL/I	Open PL/I, OF PL/I
言語3	CA Easytrieve Plus	ProTrieve
JCL	JES	OpenFrame(JES)
FILE	VSAM, ISAM	OpenFrame(TSAM)
画面	3270ターミナル画面	JavaApplet 3270エミュレータ対応

ホスト資産の移行方法(IBMの場合)



従来業務ロジックがそのまま利用可能

- IMS/CICS/Batchプログラムがオープンプラットフォームでそのまま動きます
- BMS/MFSのソースがそのまま利用できます
- VSAM/ISAM/IMS DBがそのまま利用できます（プログラム等の修正は不要です）
- BatchのJCLがそのまま動きます（カタログ・カタプロや、DISP・COND等のパラメータもそのまま動きます）
- 各種ユーティリティプログラムが提供されています

ソースの再利用により、移行費用を節約し移行期間を大幅に削減します

慣れ親しんだメインフレームのシステム管理により、オープン環境の利便性が向上します

富士通（MSP/XSP）、日立（VOS3）にも対応

お問い合わせ先：ニッセイ情報テクノロジー株式会社 クラウドサービス事業部 ITソリューション営業ブロック
〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 TEL：03-5714-5029

ホストシステムのシステム資産に手を加えずに
オープンプラットフォームでの稼働を実現

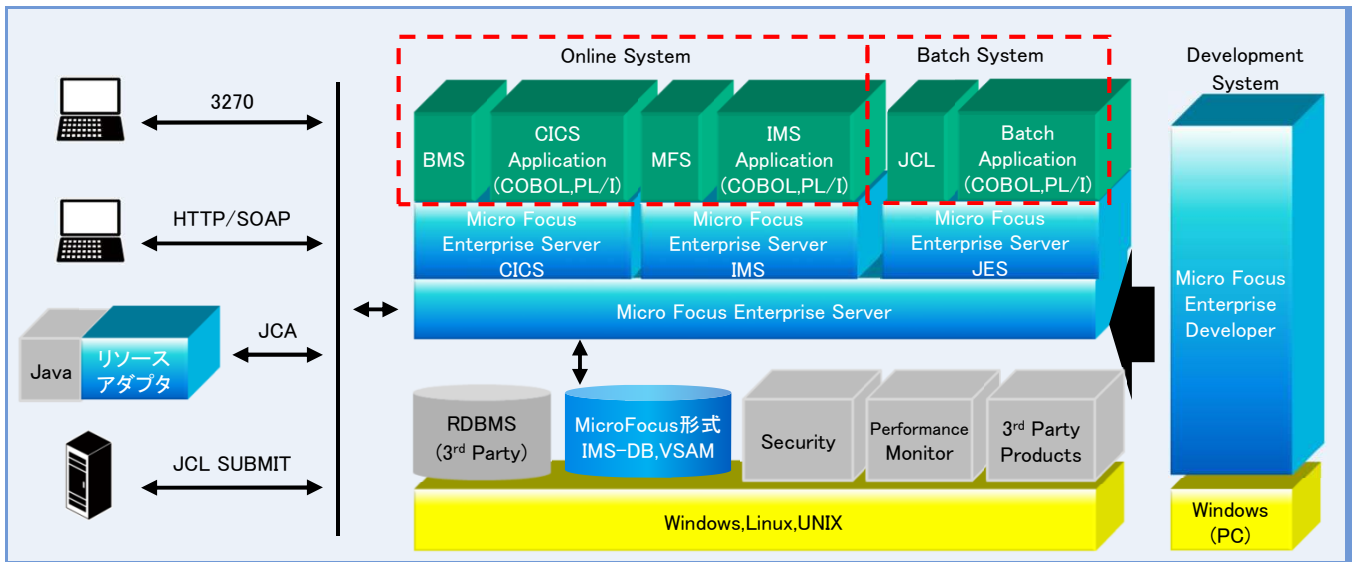
Windowsで
ホスト業務が稼働

メインフレーム リホスティングソリューション

ホストで稼働しているプログラム、実行JCLやデータなどのシステム資源をそのまま、オープン環境への移行が可能な、マイクロフォーカス社の「Micro Focus Enterprise Server」リホスティングソリューションをご提供します。オープン環境へ移行することで、将来のシステム拡張の可能性も広がります。

<システム構成>

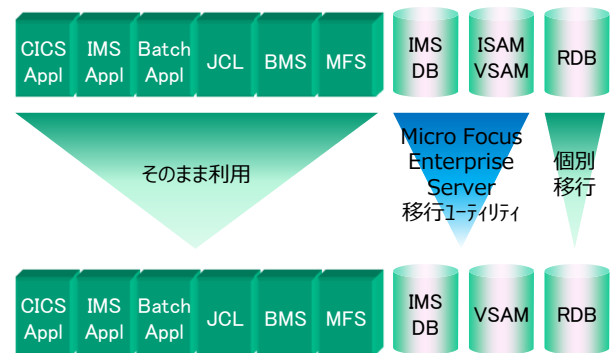
オープン環境へ移行後のシステム構成図(赤点線部分がホストから移行したシステム群)



メインフレームからオープン環境への移行

	メインフレーム	Micro Focus Enterprise Server
OS	MVS, OS390, z/OS, VSE	Windows, Linux, UNIX
DB	DB2	Oracle, UDB, 他
	IMS-DB	Micro Focus 形式 IMS-DB
DC	CICS, IMS	Micro Focus Enterprise Server (CICS, IMS)
言語1	COBOL II, Enterprise COBOL	Micro Focus Visual COBOL
言語2	PL/I	Micro Focus PL/I
JCL	JES	Micro Focus Enterprise Server (JES)
FILE	VSAM, ISAM	Micro Focus 形式 VSAM
画面	3270ターミナル画面	3270エミュレータ対応

ホスト資産の移行方法



従来の業務ロジックがそのまま利用可能

- ▶IMS/CICS/Batchプログラムがオープンプラットフォームでそのまま動きます
- ▶BMS/MFSのソースがそのまま利用できます
- ▶VSAM/ISAM/IMS DBがそのまま利用できます(プログラム等の修正は不要です)
- ▶BatchのJCLがそのまま動きます(カタプロや、DISP・COND等のパラメータもそのまま動きます)
- ▶各種ユーティリティプログラムが提供されています

ソースの再利用により、移行費用を節約し移行期間を大幅に削減します

慣れ親しんだメインフレームのシステム管理により、オープン環境の利便性が向上します

統合開発環境(Eclipse, Visual Studioベース)により、移行後の生産性が向上します

お問い合わせ先：ニッセイ情報テクノロジー株式会社 クラウドサービス事業部 ITソリューション営業ブロック

〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 TEL：03-5714-5029

文書審査承認番号：NIT2020-159(業017)03

本紙中の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



ニッセイ情報テクノロジーが提供するプライベートクラウド上で
日本ティーマックスソフト社の Tmax OpenFrameXSP が稼動

Tmax OpenFrameXSP for NISSAY ITクラウド

Tmax OpenFrameXSP を利用して富士通OSIV/XSPメインフレーム環境からオープン環境に
マイグレーションした後の運用・維持管理につきましても ニッセイ情報テクノロジーがお手伝いいたします。

■ Tmax OpenFrameXSP for NISSAY ITクラウドの特徴

特徴1 Tmax OpenFrameXSP の稼動に最適なサーバ環境のご提供

NISSAY ITクラウドが提供するVMware仮想環境上に、お客様専用の Tmax OpenFrameXSP の稼動に最適なサーバ環境をご提供いたします。仮想サーバ環境の構成やシステム資源（CPU、メモリ、ディスク等）のサイジング等も、マイグレーション作業をお手伝いする弊社コンサルタントがご支援いたします。

※ NISSAY ITクラウドのサービス体系につきましては別途お問合せをお願いいたします。

特徴2 Tmax OpenFrameXSP のライセンスが月額課金で利用可能

Tmax OpenFrameXSP for NISSAY ITクラウドでは、Tmax OpenFrameXSPのライセンス（製品保守サポートを含む）がサブスクリプション方式の月額課金でご利用頂けます。システム導入時の初期投資を抑え、会計的にはソフトウェアを資産にすることなく経費として処理することが可能となります。

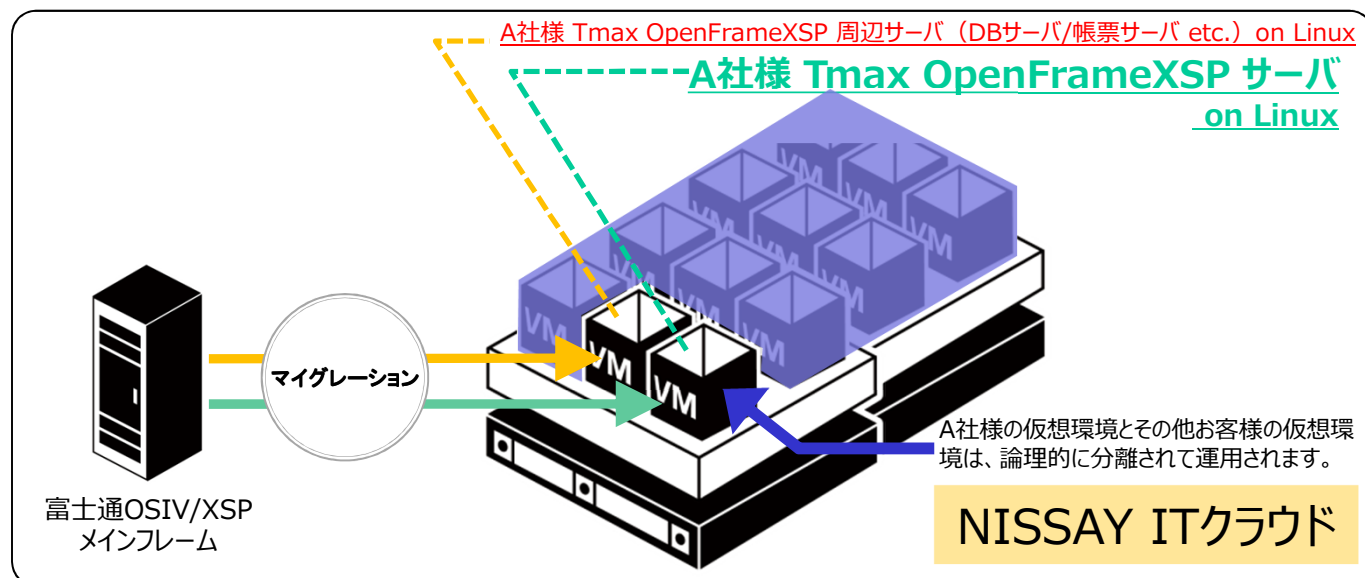
※ Tmax OpenFrameXSPのサブスクリプションライセンスご利用に際しては最低利用期間の拘束がございます。
Tmax OpenFrameXSP以外の製品ライセンスは買取（製品保守サポートは年間契約）となります。

特徴3 導入から日々の運用・維持管理までワンストップでサポート（オプションサービス）

経験豊富な技術者が、Tmax OpenFrameXSPのインフラ基盤を導入から日々の運用・維持管理までワンストップでサポートいたします。（本サービスの利用に際しましては、別途、環境構築サービス 及び 運用・維持管理サービスのご契約が必要となります）

※ 環境構築サービス 及び 運用・維持管理サービスの内容及び提供方法等につきましては別途ご相談となります。

■ サービスイメージ



■ Tmax OpenFrameXSP のご紹介

Tmax OpenFrameXSP とは、メインフレームで使用しているプログラム（AIM/DB、AIM/DC の処理を含む）やJCLを、再開発することなくオープン環境に移行して運用するための日本ティーマックスソフトが提供する富士通OSIV/XSPユーザ向けのミドルウェア製品です。

当サービスにつきましては Tmax OpenFrameXSP 以外のプラットフォームでもご相談をお受けいたします。

お問い合わせ先：ニッセイ情報テクノロジー株式会社 クラウドサービス事業部ITソリューション営業ブロック

〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 TEL：03-5714-5029